

平成26年度
建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度建設局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 3

1 平成26年度建設局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成26年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成26年度要求総額 36,636,386千円
 (平成25年度当初予算額 32,278,219千円)
 前年度比 + 13.5%

(前年度15ヶ月予算額 36,623,219千円)
 前年度比 + 0.0%

※前年度15ヶ月予算額 = H25年度当初 + H25年2月補正

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 A	平成25年度 当初予算額 B	増減 A-B
道路・街路事業	27,229,463	23,790,110 (25,465,110)	+ 3,439,353 (+ 1,764,353)
河川事業	3,248,351	2,776,275 (2,896,275)	+ 472,076 (+ 352,076)
公園事業	5,427,754	4,995,790 (7,545,790)	+ 431,964 (▲ 2,118,036)

※下段()数字は、前年度15ヶ月予算額。

平成26年度 建設局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分	H26要求額	H25当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	16,147,300	13,556,743	2,590,557	19.1%
街路事業	9,289,300	8,404,900	884,400	10.5%
道路・街路事業 計	25,436,600	21,961,643	3,474,957	15.8%
河川事業	2,899,100	2,425,900	473,200	19.5%
公園事業	2,699,839	2,232,204	467,635	20.9%
その他	4,800	8,000	▲ 3,200	▲ 40.0%
投資的経費 計	31,040,339	26,627,747	4,412,592	16.6%
道路事業	1,792,863	1,828,467	▲ 35,604	▲ 1.9%
河川事業	349,251	350,375	▲ 1,124	▲ 0.3%
公園事業	2,727,915	2,763,586	▲ 35,671	▲ 1.3%
その他	726,018	708,044	17,974	2.5%
行政経費 計	5,596,047	5,650,472	▲ 54,425	▲ 1.0%
一般会計 計	36,636,386	32,278,219	4,358,167	13.5%
うち 道路・街路事業	27,229,463	23,790,110	3,439,353	14.5%
うち 河川事業	3,248,351	2,776,275	472,076	17.0%
うち 公園事業	5,427,754	4,995,790	431,964	8.6%

* 土木職員費を除く。

平成26年度 建設局予算要求総括表

【一般会計】 15ヶ月予算との比較

(単位：千円)

区分	H26要求額 A	H25当初予算 B	H24.2補正 C	15ヶ月予算 D (B+C)	増減額	前年度対比
道路事業	16,147,300	13,556,743	1,155,000	14,711,743	1,435,557	9.8%
街路事業	9,289,300	8,404,900	520,000	8,924,900	364,400	4.1%
道路・街路事業 計	25,436,600	21,961,643	1,675,000	23,636,643	1,799,957	7.6%
河川事業	2,899,100	2,425,900	120,000	2,545,900	353,200	13.9%
公園事業	2,699,839	2,232,204	2,550,000	4,782,204	▲ 2,082,365	▲ 43.5%
その他	4,800	8,000	0	8,000	▲ 3,200	▲ 40.0%
投資的経費 計	31,040,339	26,627,747	4,345,000	30,972,747	67,592	0.2%
道路事業	1,792,863	1,828,467	0	1,828,467	▲ 35,604	▲ 1.9%
河川事業	349,251	350,375	0	350,375	▲ 1,124	▲ 0.3%
公園事業	2,727,915	2,763,586	0	2,763,586	▲ 35,671	▲ 1.3%
その他	726,018	708,044	0	708,044	17,974	2.5%
行政経費 計	5,596,047	5,650,472	0	5,650,472	▲ 54,425	▲ 1.0%
一般会計 計	36,636,386	32,278,219	4,345,000	36,623,219	13,167	0.0%
うち 道路・街路事業	27,229,463	23,790,110	1,675,000	25,465,110	1,764,353	6.9%
うち 河川事業	3,248,351	2,776,275	120,000	2,896,275	352,076	12.2%
うち 公園事業	5,427,754	4,995,790	2,550,000	7,545,790	▲ 2,118,036	▲ 28.1%

* 土木職員費を除く。

(2) 平成26年度建設局経営方針

建設局においては、「元気発進！北九州」プランの実現と、「北九州市新成長戦略」の推進を図るため、世界の環境首都にふさわしい、都市基盤の充実や生活環境の向上に取り組みます。

このため、限られた財源の中で、次の5つの方針に基づき、「選択と集中」による効果的な事業の推進に努めます。

- 1 真に必要な都市基盤の着実な整備
- 2 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ
- 3 より安全で安心な都市整備の推進
- 4 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進
- 5 区における地域主体のまちづくり整備の推進

具体的には、

「1 真に必要な都市基盤の着実な整備」では、本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など基盤施設の整備を推進します。

「2 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ」では、小倉駅・黒崎駅前の道路環境整備や旦過地区まちづくりに資する河川整備など、まちのにぎわいづくりを推進します。

「3 より安全で安心な都市整備の推進」では、ゲリラ豪雨対策や橋梁の耐震化などの防災対策や、通学路整備や交差点改良などの交通安全対策を行い、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

「4 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進」では、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を行います。

「5 区における地域主体のまちづくり整備の推進」では、地域の声を聞きながら、地域に役立つ公園づくりや市民による地域のまちづくり整備など、地域主体のまちづくりを推進します。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

1 真に必要な都市基盤の着実な整備

本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など都市基盤施設の整備を推進します。

V-2・継続

【新成長戦略関連】

☀ 主要幹線道路の整備

10,829,175 千円

アジアなど国内外での本市産業の競争力強化や新たな企業立地促進のため、交通・物流基盤の機能強化を推進します。

- ◆国道3号黒崎バイパス、国道199号砂津バイパス、国道211号、戸畑枝光線、砂津長浜線、都市計画道路9号線（高野）恒見朽網線、中原戸畑1号線 など



戸畑枝光線枝光付近の完成イメージ

Ⅲ-1・継続

☀ 拠点公園の整備（都島展望公園）

297,700 千円

戸畑 D 街区にある老朽化した浅生球場の機能を移転し、スポーツレクリエーション等が楽しめる公園として整備します。

平成 27 年度の完成を目指し、平成 26 年度は、野球場施設の基盤となるグラウンド整備などを行います。



～完成イメージ～

V-1・継続

☀ 主要河川の整備

1,944,200 千円

市内を流れる主要な河川について、浸水被害を未然に防ぐため、計画的に河川改修を進めます。

◆紫川、撥川、神嶽川、江川 ほか

2 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ

小倉駅・黒崎駅前の道路環境整備や旦過地区まちづくりに資する河川整備など、まちのにぎわいづくりを推進します。

IV-4・継続

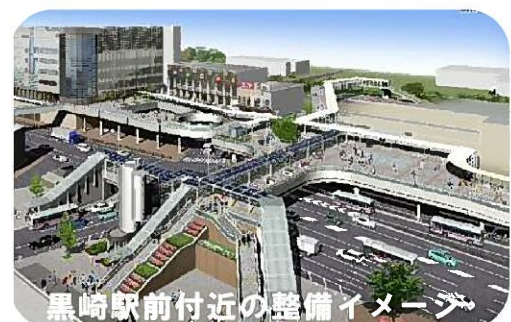
【新成長戦略関連】

☀ 小倉駅・黒崎駅前のにぎわいづくりの推進

1,230,000 千円

北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちのにぎわいづくりを推進します。

◆小倉駅南北自由通路、
黒崎 3 6 号線（ペDESTリアンデッキ）、
黒崎駅南北自由通路 など



黒崎駅前付近の整備イメージ

IV-4・新規

【新成長戦略関連】

☀ 旦過地区まちづくりに資する河川整備 (新規) 57,000 千円

【57,000千円は「主要河川の整備」(p.4)の再掲】

長年市民に親しまれている旦過市場の治水安全度を高め、さらに魅力ある市場とするために、地元と協働で神嶽川の改修事業を推進します。

◆旦過地区の護岸整備の詳細設計等

IV-4・新規

【新成長戦略関連】

☀ 街なかのにぎわいづくり支援事業 (新規) 31,000 千円

中心市街地や観光地にある公園や河川親水広場は、イベント等で広く活用されており、市の内外から多くの方々が来訪する集客拠点の役割を果たしている。これらの場所において、「おもてなし」の観点から、花飾りや除草などの美化を行うことで、街なかの魅力高め、にぎわいづくりや都市のイメージアップを推進します。



3 より安全で安心な都市整備の推進

ゲリラ豪雨対策や橋梁の耐震化などの防災対策や、交通安全対策に取り組み、より安全で安心な都市整備を推進します。

Ⅱ-1・継続

☀️ 水害から市民を守る河川緊急整備事業

195,200 千円

【195,200千円は「主要河川の整備」(p.4)の再掲】



～平成21年7月豪雨の状況～
(紫川、長行東一丁目)

平成21年7月、平成22年7月の豪雨で浸水被害の大きかった9河川について、従来からの事業に加え、新たに平成22年度から本緊急事業に着手し、5年間で河川の拡幅や掘削、護岸の整備など、河川の整備を集中的に取り組んでいます。

◆紫川、笹尾川の河川整備

Ⅱ-1・継続

☀️ ゲリラ豪雨対策の推進

248,000 千円

平成25年7月の局地的な豪雨(ゲリラ豪雨)を踏まえ、激しい降雨により冠水が心配されるアンダーパスや、治水安全度の向上が必要な河川について集中的に対策を実施し、安全で安心なまちづくりを着実に推進します。

◆アンダーパスの事故防止対策

◆天籟寺川の河川整備

Ⅱ-1・継続

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

980,000 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。

- ◆徳力葛原線（葛原跨線橋）、
砂津城内1号線（中の橋）など



Ⅲ-1・継続

☀ 通学路の安全対策

805,000 千円

児童が安全に通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、更なる通学路の安全対策を推進します。



4 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

市民共有の財産である都市基盤を健全な状態で維持するため、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を推進します。

V-3・継続

☀ 橋梁長寿命化事業

2,660,000 千円

【980,000千円は「災害時における緊急輸送道路の確保」(p.7)の再掲】

道路にかかる橋梁においても効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、効率的かつ効果的に資産管理を行うアセットマネジメント(※)の考え方を取り入れ、定期的な点検の結果に基づき、橋梁の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、橋梁を長持ちさせる維持管理を推進します。

※アセットマネジメントとは、施設の状況把握と分析に基づき、問題箇所の早期発見と適切な対応や効果的な修繕による予防保全などを行い、中長期的な視点でより効率的かつ効果的な資産管理を行う方法です。



V-3・継続

☀ トンネル長寿命化事業

300,000 千円

効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、定期的な点検結果に基づき、トンネルの状態に応じた保守工事を行うなど、トンネルを長持ちさせる維持管理を推進します。



Ⅲ-3・継続

☀️ 道路サポーター事業 18,262 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀️ 河川愛護団体補助事業 490 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀️ 公園愛護会補助事業 6,921 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。



「公園愛護会活動状況」

5 区における地域主体のまちづくり整備の推進

地域の声を聞きながら、市民による地域のまちづくり整備や地域に役立つ公園づくりなど、地域主体のまちづくりを推進します。

Ⅲ-1・新規

☀ 市民による地域のまちづくり整備事業（新規） 776,600 千円

市民の声を聞きながら、地域ニーズに対応した身近な生活道路・公園・河川の環境整備や維持補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進します。

Ⅲ-1・継続

☀ 地域に役立つ公園づくり事業 175,000 千円

小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して、地域ニーズにあった公園へと改修します。



～ワークショップ状況写真～

Ⅱ-2・新規

☀ 子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業（新規） 34,300 千円

子どもが安全に遊ぶため、死角を生む樹木等の剪定・撤去、大人の目が届きやすい遊具の配置を考慮するとともに、高齢者等が利用する健康遊具などを整備し、公園を見守る大人を増やす環境づくりを行います。また、子どもが遊びを通じて体の様々な部位を動かすような遊びの場を整備し、子どもの健やかな成長にも役立つ公園整備を行います。



～公園整備のイメージ～

Ⅱ-2・継続

☀ 健康づくりを支援する公園等整備事業

48,000 千円

【うち 8,000 千円は、「市民による地域のまちづくり整備事業」(p. 10)の再掲】

高齢者の体と心の健康づくりのため、医学・運動学の観点から新たな健康遊具の開発を行い、効果的に配置することで、高齢者が日常的に健康づくりを行いやすい公園整備を行います。

また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施します。

※ 継続的な健康づくりを促すための、『公園での健康づくり教室』など、普及啓発のソフト事業は保健福祉局で行います。



～公園を活用した健康づくりイメージ～

Ⅲ-1・継続

☀ バリアフリーのまちづくりの推進

1,725,630 千円

【うち 509,000 千円は、「通学路の安全対策」(p. 7)の再掲】

すべての人々が安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化（段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など）を推進します。